

大学コンソーシアムやまがた 総務運営委員会 記録

日 時 平成19年3月22日(木) 13:40~15:15
場 所 山形大学人文棟2F地共研会議室
出席者 委員長 中村三春(山形大学)
委 員 栗山恭直(山形大学) 吳 尚宏(東北公益文科大学)
鈴木義昭(山形短期大学) 伊東知之(羽陽学園短期大学)
佐竹正行(山形大学) 阿部愼悦(県立保健医療大学)
池田浩一(東北公益文科大学) 高橋勝重(県立米沢女子短期大学)
半澤昌子(山形短期大学) 佐藤 勉(鶴岡工業高等専門学校 代理)
中島博信(放送大学山形学習センター) 高橋正浩(山形県)
欠席者 副委員長 早坂 功(東北芸術工科大学) 内田勝雄(県立保健医療大学)
委 員 嶋崎伸一(県立米沢女子短期大学) 菊地 朗(山形大学)
中嶋健治(東北芸術工科大学) 卷 久(羽陽学園短期大学)
長谷川守男(羽陽学園短期大学)

会議に先立ち、山形県文化環境部国際室・石垣国際企画専門員および飯野主事から、席上配付の資料に基づき、19年度の「コロラド・コミュニティ・アクション講座」事業の説明と、受講者募集への協力要請があった。

議 題

1 18年度事業報告および収支決算見込について

委員長から、資料1-1、2に基づき、18年度の事業実施状況および収支決算見込について説明があり、検討の結果、大枠で了承された。

次いで、委員長から、決算見込については、今後精査した上で3月30日開催の幹事会に諮り、6月開催予定の総会で決定されることになる旨説明があった。

2 19年度事業計画および収支予算について

委員長から、資料2-1、2、3に基づき、19年度の事業計画案と収支予算案、19年度山形県大学ガイダンスセミナー企画概要案について説明があり、意見交換の後、委員長から、各機関において持ち帰り検討の上、意見があれば3月27日(火)まで事務局あてお知らせ願いたい旨依頼があった。

意見交換等の主なものは次のとおり。

- ・19年度の新規事業は、単位互換事業の「ゆうキャンパス講座」/県から半額補助される、学生活動事業の「地域づくりセミナー」/県との共同事業となる、高大連携事業の「やまがたサイエンスカフェ」である。
- ・予算の関係上、先進地調査は実施しないこととする。
- ・単位互換事業の「ゆうキャンパス講座」は、安くすむ形で計上する。
- ・広報事業の広報誌は、部数・品質を落としてでも、毎年発行することとする。

- ・地域活動事業のうち、学生生活の経費を減額調整する。
- ・教職員交流連携事業の「学生生活に関するシンポジウム」は、合宿セミナー終了後の秋以降に実施することとする。
- ・機関負担金は、各機関での増額が困難であることから、学生収容定員割の額を前年度と同額とする。

3 幹事会（3／30）の議題について

委員長から、資料3に基づき、3月30日開催予定の幹事会の議題について説明があり、検討の結果、「4 その他」の「(2) 事務局員の増員」については、19年度予算に絡むものであることから、「3 平成19年度事業計画および収支予算について」の中で審議いただくことになった。

4 その他

(1) ゆうキャンパス企画タスクフォース（仮称）について

委員長から、前回の本委員会で設置を了承いただき、人選を委員長に一任いただいていた「ゆうキャンパス企画タスクフォース」（仮称）のメンバーとして、総務運営委員会委員の山形大学・栗山恭直先生、地域活動部会員の県立米沢女子短期大学・小池隆太先生、コンソーシアムのホームページや学生生活企画面で協力いただいている東北公益文科大学広報入試課の浦山恭子さんと私・中村の4人の組織としたい旨提案があり、了承された。

次いで、委員長から、タスクフォースでの検討結果は随時本委員会に報告することとする旨発言があった。

(2) 平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」への申請について

委員長から、資料5-1、2、3に基づき、内容について説明の後、本取組への参加機関の長の了解が必要となるものであることから、各機関において機関の長から了承いただけるよう説明方よろしくお願ひしたい旨依頼があった。なお、3月30日開催予定の幹事会において、各機関の参加について確認させていただく予定である旨説明があった。

次いで、委員長から、申請後の予定は、必要に応じてヒアリングや実地調査を経て、7月末に採否が決定される予定となっており、採択されれば後期からスタートすることになるものである旨の説明があった。

(3) 平成19年度コロラド・コミュニティ・アクション講座について

委員長から、本会議の冒頭に県から説明があった本件については、昨年度に引き続き、学生への広報と募集への協力要請であるので、コンソーシアムとして引き受けることとしたい旨提案があり了承された。

(4) その他

- ① 委員長から、本総務運営委員会は幹事会の下で各事業部会を把握する必要があることから、新年度からは各部会長にも本委員会の構成員になっていただきたい旨提案があり、検討の結果、幹事会に提案することとなった。

配付資料

- 資料 1 - 1 18年度コンソーシアム事業の進捗状況
- 資料 1 - 2 18年度コンソーシアム収支決算見込額調
- 資料 2 - 1 19年度コンソーシアム事業計画（案）
- 資料 2 - 2 19年度コンソーシアム収支予算書（案）
- 資料 2 - 3 19年度山形県大学ガイダンスセミナー企画概要
- 資料 3 コンソーシアム幹事会議題（案）
（資料 4 なし）
- 資料 5 - 1 19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」申請書（案）
- 資料 5 - 2 19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」申請書説明文
- 資料 5 - 3 各参加機関への依頼文書